

福島第一原子力発電所の状況

2015年8月5日
東京電力株式会社

< 1. 原子炉および原子炉格納容器の状況 > (8/5 11:00 時点)

号機	注水状況		原子炉压力容器 下部温度	原子炉格納容器 圧力	原子炉格納容器 水素濃度
1号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 1.9 m ³ /h	28.1	1.0 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約 2.4 m ³ /h			B系： 0.00 vol%
2号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.4 m ³ /h	34.3	5.14 kPa g	A系： 0.00 vol%
		給水系：約 2.1 m ³ /h			B系： 0.01 vol%
3号機	淡水 注入中	炉心ブレイ系：約 2.3 m ³ /h	31.8	0.26 kPa g	A系： 0.04 vol%
		給水系：約 2.0 m ³ /h			B系： 0.05 vol%

< 2. 使用済燃料プール(SFP)の状況 > (8/5 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	SFP 水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	31.5
2号機	循環冷却システム	停止中	33.1
3号機	循環冷却システム	運転中	29.0
4号機	循環冷却システム	運転中	27.0

各号機使用済燃料プールおよび原子炉ウェルヘドラジンの注入を適宜実施。

[2号機]・2015/8/4/5:35 ~ 2号機のSFP代替冷却系については、当該冷却系の空気作動弁用コンプレッサの交換作業を行うため、冷却を停止。なお、冷却停止時のSFP水温度は 30.7 であり、停止時のSFP水の温度上昇率は 0.136 /h、停止中のSFP水温度上昇は最大で約 4.9 と評価しており、運転上の制限値 65 に対して余裕があることから、SFP水温度の管理上は問題ない。

・2015/8/5/11:16 コンプレッサ交換作業が終了したことから、SFP代替冷却系を起動。起動状態について異常のないことを確認。

起動後のSFP水温度は 33.1 であり(停止時 30.7)、運転上の制限値(65)に対して余裕があり、SFP水温度の管理上問題はなかった。

< 3. タービン建屋地下等のたまり水の移送状況 >

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	タービン建屋	集中廃棄物処理施設(高温焼却炉建屋)	7/30 18:59 ~ 移送実施中

< 4. 水処理設備および貯蔵設備の状況 > (8/5 11:00 時点)

設備	セシウム 吸着装置	第二セシウム 吸着装置 (サリー)	淡水化装置 (逆浸透膜)	淡水化装置 (蒸発濃縮)	多核種除去設 備(ALPS)	増設多核種 除去設備	高性能多核種 除去設備
運転状 況	停止中 ^{*1}	運転中 ^{*1}	水バランスを みて断続運転	水バランスを みて断続運転	ホット試験中 ^{*2}	ホット試験中 ^{*2}	ホット試験中 ^{*2}

*1 フィルタの洗浄、ベッセル交換を適宜実施。 *2 高性能容器(HIC)交換等を適宜実施。

< 5. その他 >

- ・2014/6/2 ~ 陸側遮水壁工事を開始。
- ・2015/4/30 12:00 ~ ブライン(不凍液)循環設備の健全性や地下水の流れによる影響等の確認のため1~4号機建屋の山側(18箇所)を対象に試験凍結を開始。
- ・2015/5/27 ~ 構内で今後使用しないフランジボルト締めタイプのRO濃縮水貯槽(フランジ型タンク)の解体作業を開始。
- ・2015/8/2 3号機SFPからの燃料交換機撤去は、8/2 11:55 に吊上げ作業を開始し、同日 13:18 に吊降ろし作業が終了。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。

- 8/3 3号機SFPにおける燃料交換機の操作卓等の落下事象について、8/3に採取した使用済燃料プール水の放射能分析結果は、セシウム134は $1.7 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$ 、セシウム137は $6.6 \times 10^2 \text{Bq/cm}^3$ 、コバルト60は $1.4 \times 10^0 \text{Bq/cm}^3$ であり、前回と比較して有意な変動はなく、燃料破損の兆候は確認されていない。
- 8/4 3号機SFPについては、本日9:05頃、水中カメラにてSFP内の状況を確認していたところ、落下していた燃料交換機本体の下に位置する燃料集合体4体において、ハンドル部が変形していることを確認。なお、8/3に採取したSFP水の放射能濃度については、前回と比較して有意な変動がないこと、および当該撤去作業の前後においてモニタリングポスト指示値に有意な変動はないことから、今回の撤去作業による新たな燃料破損の兆候はなく、周辺環境への影響もない。今後、燃料取り出しの検討過程において、当該燃料集合体の取り扱いについても検討していく。

1号機原子炉建屋カバー解体作業]

- ・2015/3/16 1号機の原子炉建屋カバー(以下、建屋カバー)解体工事に向けて準備工事を開始。
- 5/15 6:45 ~ 5/20 13:11 建屋カバー屋根パネルからの飛散防止剤の散布作業を実施。当該作業期間中において、ダストモニタおよびモニタリングポストのダスト濃度等に有意な変動なし。
- 7/17 7:06 ~ 2015/7/21 9:10 建屋カバー屋根パネル貫通孔からの飛散防止剤の散布作業が終了。
- 7/28 ~ 建屋カバー屋根パネルの取り外し作業を開始。

[海水配管トレンチ立坑閉塞充填作業状況]

- [2号機]・2015/6/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約4,500m³の除去完了。
7/10 海水配管トレンチ内の充填完了。
- [3号機]・2015/5/2 ~ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、立坑への閉塞材料の充填作業を実施中。
7/30 海水配管トレンチ内の滞留水 約5,500m³の除去完了。
- [4号機]・2015/4/15 ~ 海水配管トレンチの閉塞を目的として、開口部への閉塞材料の充填作業を実施中。

[地下水バイパス揚水井の状況]

- ・地下水バイパス揚水井 No.1 ~ 12 のサンプリングを継続実施中。
- ・地下水バイパス揚水井 No.10 は、7/30 に採水した水の分析結果において、トリチウム濃度が1,600 Bq/L であることを確認しているが、第三者機関による分析においても1,600 Bq/L であり、同等であることを確認。

[1 ~ 3号機放水路の状況]

- 1 ~ 3号機放水路については、1号機放水路立坑および2号機放水路立坑において、セシウム137の濃度が上昇したことから定期的に水質調査を実施。
- <最新のサンプリング実績>
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[構内側溝に敷設されている耐圧ホースからの漏えいについて]

- < K排水路排水口のサンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。引き続き、監視を継続していく。

[H4, H6 エリアタンク周辺観測孔(周辺排水路含む)の状況、タンクパトロール結果関連]

- < H4 エリア周辺のサンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < H6 エリア周辺のサンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。
- < 福島第一構内排水路・南放水口のサンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[タービン建屋東側の地下水調査/対策工事の実施状況]

- < 地下水観測孔サンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。

[地下貯水槽からの漏えいに関する情報および作業実績]

- < 地下貯水槽サンプリング実績 >
- ・前回採取した測定結果と比較して大きな変動は確認されていない。